

目次

刊行の辞
テキスト刊行の趣旨
はじめに

I 部 介護の基本

第1章 介護の基本 I 1

第1節 介護とは何か 3

- 1 介護について 3
- 2 介護の目的 4
- 3 介護の基本的な考え方 5
- 4 介護の社会化：介護の歴史的変遷 6
 - 施設介護の変遷 在宅介護の変遷 介護問題の背景と介護福祉士の誕生

第2節 介護とケア 11

- 1 介護とケア 11
 - 「介護」という用語 ケアとは
- 2 介護福祉の意味するもの 14
- 3 ケアにおけるパターンリズム 16
- 4 介護福祉士に求められる職業倫理 18
 - 専門職と職業倫理 介護福祉士の倫理条項 事例で学ぶ介護の専門性と職業倫理

第3節 介護の理念：尊厳を支える介護 29

- 1 QOL（生活の質）の向上と自立支援 29
 - 尊厳を支える介護 QOL の概念 自立と自立支援 人間関係を築く
- 2 リハビリテーションの活用 35
 - リハビリテーションの概念 リハビリテーションと障害のとりえ方の歴史的変遷
- 3 ノーマライゼーションの実現 40
 - ノーマライゼーションの理念 ノーマライゼーションの発展 日本におけるノーマライゼーションの実践 ノーマライゼーションの実現

第4節	介護福祉士の役割と機能	47
1	介護福祉士の現状と養成	47
	介護福祉士資格の取得方法 介護福祉士の登録者数の推移	
2	介護福祉士の役割と機能	48
	求められる介護福祉士像 介護福祉士の定義と義務規定 介護サービスの提供の場と介護福祉士の役割 介護実践における多職種連携	
第2章	介護の基本Ⅱ	69
第1節	介護を必要とする人と生活の理解：介護は人生と生活の質(QOL)を決める	71
1	生活とは何か	71
	「生活」への視点 ふつうの生活とは 生活時間 見直される生活	
2	ライフサイクル	75
	人生で一番輝くときが戦争の時代 激変する生活 福祉元年から低成長時代へ 高齢者福祉サービス基盤整備 本格的な高齢社会	
3	生活福祉の視点	79
	老人観と障害観 生活福祉の登場	
4	ICFの視点で「生活」をとらえる	84
	ICFの障害観・健康観 医学モデルから統合モデルへ ICFの視点	
第2節	要介護者を支える生活支援技術	91
1	介護技術と生活支援技術	91
2	生活支援技術と介護過程	94
3	どのように生活評価を考えるか	95
第3節	身体拘束と虐待	100
1	身体拘束はなぜ問題なのか	100
	身体拘束について 身体拘束がもたらす弊害	
2	高齢者虐待の現状と課題	104
	虐待とは 虐待の現状	
3	虐待を起こさないために	110
第4節	リスクマネジメントと介護従事者の安全	114
1	リスクマネジメント	114

安心できる介護サービスを目指して リスクマネジメントの基本
視点

- 2 介護事故とリスク 115
介護事故とは リスクとは何か リスクが事故につながる要因
どんな事故が多いか
- 3 事故を防ぐために 117
事故原因の究明が原則 介護技術を理解する
- 4 質の高い安全な介護 120

Ⅱ部 介護過程

第3章 介護過程Ⅰ：理論編

第1節 介護過程の意義と目的

- 1 介護過程とは何か 125
介護過程とは 科学的思考とは 介護過程とICF
- 2 介護過程の意義と目的 135
- 3 介護過程に沿った個別援助の必要性 137

第2節 問題解決過程

- 1 問題解決過程とは 140
問題解決法 事例で考えてみよう
- 2 問題解決の基本ステップ 145
問題と課題 問題の認識 分析と仮説
- 3 論理的思考方法 150
帰納法と演繹法 仮説思考法 ゼロベース思考 フレーム
ワーク思考

第3節 隣接領域で用いられている諸理論

- 1 実践の科学としての共通性 155
- 2 看護領域 156
ニーズ論 セルフケア理論
- 3 社会福祉領域 164
ストレングス視点 エンパワメント・アプローチ

第4節 介護福祉士とチームアプローチ

- 1 チームアプローチと介護福祉士の役割 176
チームアプローチとは何か チームアプローチの重要性

2	ケア会議の意義	178
	ケアカンファレンスとサービス担当者会議	ケア会議の意義
3	ケアプランと介護計画	180
	ケアプランと介護計画の関係性	多職種連携のなかでの介護計画

第5節 情報と観察 184

1	情報について	184
	情報とは	介護過程における情報 情報収集
2	観 察	187
	観察とは	介護過程における観察
3	ICF 視点からの情報の種類と観察点	189
	要介護者個人の概要の把握	健康状態に関する情報の把握 疾
	病・障害の状況の把握	生活状況の把握 環境因子
4	情報の読み取り方とそのポイント	197

第6節 介護過程の展開 201

1	介護過程の構成要素	201
2	アセスメントと生活課題	202
	アセスメントとは	「している活動」と「できる活動」の把握
	生活課題とニーズのとらえ方	事例によるアセスメント
3	介護計画の立案	216
	目標の設定	具体的援助計画の作成
4	介護計画の実施・評価	225
	実 施	評 価

第4章 介護過程Ⅱ：実践編 237

第1節 介護過程展開シートの活用 239

1	シートの構成と概要	239
	本章の特徴と意義	介護過程展開シートの構成
2	介護過程展開シートの全体像と“思考の流れ”	242
	情報整理シート	アセスメントシート 援助計画の作成と評価
	シート	援助実践経過記録シート
3	各シートの使い方	243
	情報整理シート	アセスメントシートその①②③ 援助計画・
	評価シート	援助実践経過記録シート

第2節 事例による介護過程の学習 251

1 介護計画立案と実践・評価までの事例 251

情報整理シート アセスメントシートその①②③ 援助計画・
評価シート (Y)さんの援助実践経過記録

2 演習編(実際に事例を展開してみましょう) 260

① 在宅復帰を目指す右片麻痺・言語障害のMさんの事例 262

② 穏やかな日常生活を目指す認知症のHさんの事例 264

③ 日常生活の自立を目指す COPD のTさんの事例 267

④ 経口摂取を目指す胃瘻造設をしているSさんの事例 271

資 料：介護過程展開シート

確認コーナー解答

索 引

◆本書の特徴と使い方◆

○学習を深めるために、節ごとに次のものを掲載しています。

【節頭】学習目標、キーワード

【節末】確認コーナー（穴埋め式練習問題）

引用・参考文献（☆は、学習を深めるために最適な文献）

学習目標で学習のポイントを提示しています。キーワードを本文中で確認しながら、目標に沿って学習を進めてください。

確認コーナーでは、学習目標を意識した問題を用意しています。理解の不足している箇所を確認し、くり返し学習してください。確認コーナーの解答は、巻末に掲載しています。

○下記のマークを用いて本文の補足をしています。

* 用語解説など本文の補足説明

⇒ 本巻、本テキストでの相互参照項目

例：⇒ 第2章第3節 身体拘束と虐待（××頁）

□□ 文献参照 例：□□ ①（←節末の文献番号を示す）××頁

！ 学習を深めるためのポイントや文献紹介

本テキストは、体系性を重視しています。関連する他の領域を相互に参照し、振り返って学んでください。